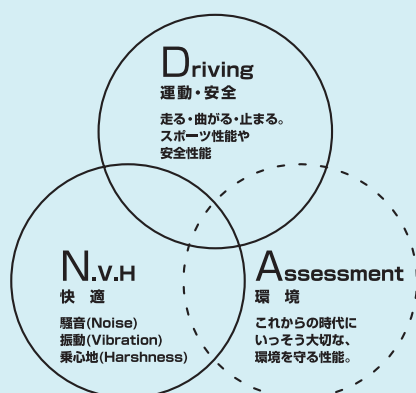


タイヤ

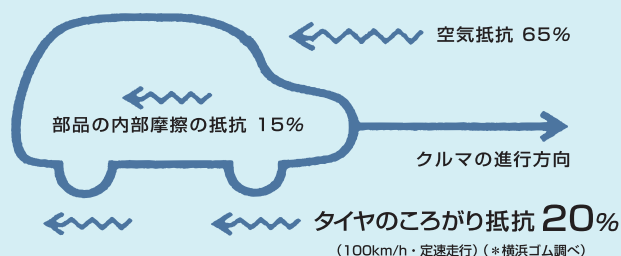


横浜ゴムは1998年に車の燃費向上を実現し、地球環境の保護に貢献する乗用車用エコタイヤ「DNA」シリーズを業界に先駆けて発売しました。それ以来、継続的にエコタイヤを提供し続け、現在では乗用車用からトラック・バス用タイヤまで幅広いエコタイヤラインアップを完成しています。



3つのタイヤ開発コンセプト

当社はタイヤ開発の基本コンセプトとして、「Driving(走行性能)」「N.V.H(快適性能)」「Assessment(環境性能)」を掲げています。これら3つのコンセプトをもとに、これからの時代に求められるタイヤづくりを進めます。



CO₂削減のキーファクター「ころがり抵抗」の低減

クルマの走行を阻む要因としては、空気抵抗に次ぐ第2の抵抗であるタイヤの「ころがり抵抗」。この抵抗が小さくなれば、それだけガソリンの無駄使いが減り、排出されるCO₂も削減できます。

進化し続けるエコタイヤシリーズ(1998年～)

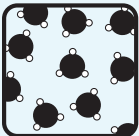
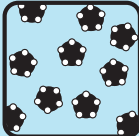
1998年、横浜ゴムが業界で初めて発売したエコタイヤが乗用車用タイヤ「DNA」シリーズです。発売から8年、様々な改良を加えながら性能アップを図ってきた「DNA」シリーズは、第2世代を経て、今や第3世代へと進化しています。一方、トラック・バス用エコタイヤでは、2002年にPRO FORCEブランドから「eco TY687」

と「Tough TY787」の2種を発売。さらに2005年には高速走行を続けるバス用に省燃費性能を高めた「RY237eco」を発売しました。2007年には環境性能を一段と高めた新エコタイヤブランドを発売する予定です。

「DNAシリーズ」の性能向上の鍵は「合体ゴム™」

横浜ゴムが独自開発した「合体ゴム™」は天然鉱物であるシリカを安定的にゴムに配合することで、優れた省燃費性能と高いグリップ力を発揮するコンパウンドです。1998年に「DNA」シリーズに初めて採用されて

以来、第2世代の「合体ゴムII™」(2002年～)、第3世代の「ナノパワーゴム」(2005年～)へと生まれ変わり、「DNA」シリーズの進化を支えています。

1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
第1世代				第2世代			第3世代			
合体ゴム™				合体ゴムII™			ナノパワーゴム			
従来比こもり抵抗 9～14%低減  シリカとカーボンをあらかじめ結合した「シリカ結合カーボン」をポリマー（ゴム）に配合。これにより優れた省燃費性能とグリップ力の両立を実現しました。				従来比こもり抵抗 5～8%低減  シリカの増量と小径化による表面積の増加により省燃費性能とグリップ性能を強化。さらにカーボンにシリカを埋め込むように結合することで耐摩耗性能も高めました。			従来比こもり抵抗 6%低減  ナノテクノロジーを駆使し、「合体ゴムII™」に様々な新素材を配合。路面密着性を強化することでグリップ性能を高めながら省燃費性能や耐摩耗性を一段と向上しました。			

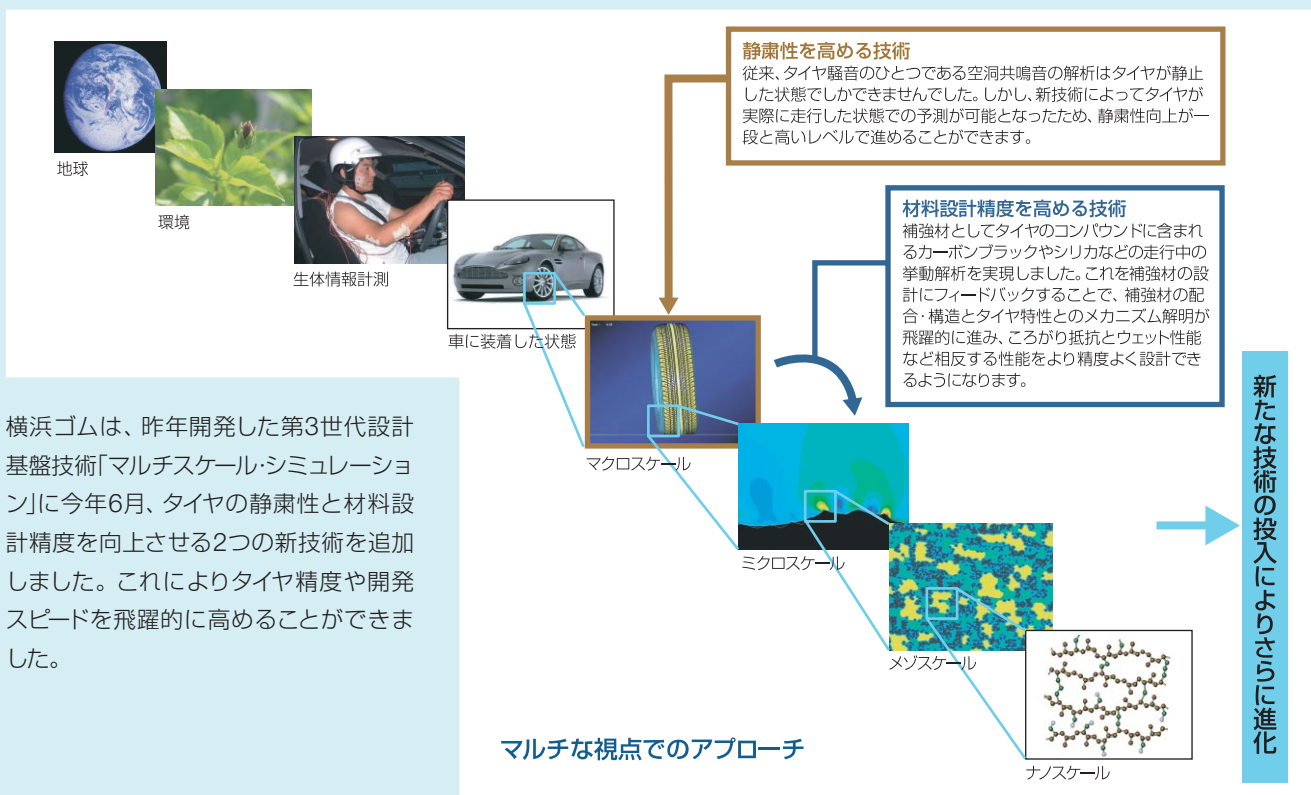
乗用車用エコタイヤ「DNA」シリーズ



トラック・バス用エコタイヤ



ヨコハマタイヤの開発を支える設計基盤技術をさらに充実



タイヤ環境貢献商品の環境機能を評価

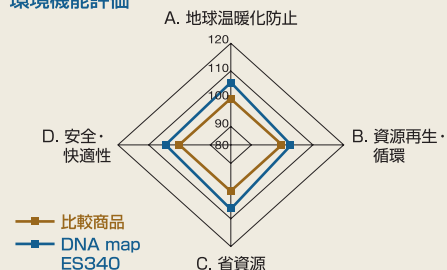
環境貢献商品の開発をするにあたり、タイヤ設計審査の各ステップで環境機能評価を行い、環境貢献商品を認定していきます。目標として2008年度に発売するタイヤをすべて環境貢献商品にするほか、販売中のタイヤにおける環境貢献商品の割合を2008年度に85%、2011年度に95%、2017年度には100%にすることを目指します。

タイヤ環境貢献商品の進化例

DNA map ES340の場合

DNA map ES340は
●劣化項目なし
●環境総合評価で社内基準以上、
よって環境貢献商品と認定する
(2006年2月発売)

環境機能評価



ヨコハマのテクノロジーを結集した最新エコタイヤ

map ES340

静かさにロングライフをプラス

2006年2月に発売したミニバン・ワンボックス用エコタイヤです。ころがり抵抗を6%低減しながら、ロングライフ10%、静粛性13%向上を実現しました。



DNA S.drive

確かな走りと省燃費を両立

第3世代「DNA」シリーズの第一弾商品として2005年1月に発売したスポーツ系エコタイヤです。ころがり抵抗を9%低減しながら、ウェット制動性を10%高めました。



PRO FORCE ECO RY237

高速走行バス用エコタイヤ

高速走行を続ける長距離バス向けのエコタイヤとして2005年4月に発売しました。ころがり抵抗を11%低減し、ローテンション頻度の減少による省力化も実現しました。



安全・快適性を高めながら環境貢献を果たす商品の開発

横浜ゴムは1980年代から環境性能に加え、安全性や快適性を高める商品の開発に着手し、すでにタイヤ空気圧モニタリングシステムやランフラットタイヤなどの商品を市場に投入しています。

現在、販売している商品に関しては、お客様の声を反映して常に性能改良を図る一方、さらなる次世代型商品の開発を進めています。

